

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章の内容を読み取り、根拠をもとに自分の考えをまとめる力が身に付いている。
- 漢字の読み書きや文法など、基礎的・基本的な知識が身に付いている。
- 自分の考えを、相手に分かりやすく伝えるために順序や構成を工夫して書くことに課題がある。

【算 数】

- 計算や図形に関する基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。
- 問題文や図・表から必要な情報を読み取り、適切に処理する力が身に付いている。
- 立式の根拠を言葉や数式を用いて説明するなどの数学的な思考力・表現力に課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 学習に主体的に取り組もうとする児童が多く、自己有用感を肯定的にとらえている児童が多い。
- 学校生活や学級への満足度や安心感が高く、友達との関わりについても肯定的に捉えている児童が多い。
- 家庭で計画的に学習する習慣を身に付けたり、自分に合った学び方を工夫したりすることに課題がある。
- デジタル端末やメディアの利用時間を自分で管理し、家庭で決めたルールを継続して実践することに課題が見られる。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・一人も取り残さない授業を意識した、基礎・基本の定着を図る学習指導の充実
- ・自分の考えを書く活動を位置付けた、考えを整理し表現する力の育成
- ・問題文から読み取った情報と図や式を関連付けて考える算数科の指導の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・自分の考えを整理し、文章の構成を意識して書く学習活動の充実
- ・問題から根拠となる情報を読み取り、数量の関係を捉えて立式する算数科の授業づくりの推進

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・毎月の生活アンケートの実施と「福岡アクション3」に基づく早期発見・早期対応
- ・教師による肯定的な声かけや、児童同士でよさを認め合う取組の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学校と家庭の連携による、デジタル端末の適切な利用と利用時間の自己管理の推進